



檜山地本通信

第5号 2012年3月5日 発行

発行 自治労北海道檜山地方本部 TEL0139-54-2012 fax0139-54-2010

自律的労使関係制度学習会

3月2日(金)、自律的労使関係制度に係る学習会を開催しました。

今春闘の道本部方針の中で重点課題として位置付けられております「労使関係ルールに関する基本要求書」について、全自治体単組で提出することが求められているところから、それについて研究を深めるとともに、来るべき自律的労使関係制度を見据え、そもそも自律的労使関係制度とは何かということを学ぶ機会とするために、春闘期の1地本1企画として位置付け、開催しました。

講師には、道本部から組織拡大推進室組織拡大オルグ担当の吉田雅人氏を招聘しました。



質問に立つ今金町職高橋委員長

また、3月6日から9日まで腕章着用の戦術配置を行うとともに、統一行動日である9日のヤマ場へ向けて、職場集会や教宣紙の発行などの戦術配置を実施し、交渉状況等を組合員へ周知



道本部講師 吉田雅人 氏

7単組・1総支部から計31人の参加があり、参加者はみな熱心に耳を傾けていました。最後に各単組からの質疑応答を行い、学習会を閉じました。

2月28日、統一要求書の回答指定日であったことから、当局からの回答を踏まえ、2月29日から3月9日まで、重点交渉期間となっています。



道南医療 定期総会

- ## 《春闘スケジュール》
- 〔2月15日～22日〕
・要求書提出
 - 〔2月15日～3月末〕
・組合旗掲揚、リストバンド着用
 - 〔2月28日〕
・要求書回答指定日
 - 〔2月29日～3月8日〕
・重点交渉期間
 - 〔3月6日～9日〕
・腕章着用
 - 〔3月9日〕
・全国統一行動日
(29分時間内くい込み集会、超勤拒否、出張拒否)

し、組合員一丸となってたたかう取り組みの強化を図るようお願いいたします。

2月18日(土)、函館市湯の川 ホテル万惣において、午後12時から道南医療・渡島・檜山地本合同衛生医療評議会幹事会を開きました。また、幹事会に引き続き第18回道南医療定期大会が午後2時30分から開かれ、総勢42人が参加し、檜山地本からは、幹事会及び総会に、計7人が出席しました。



総会の前段に行われた講演会では、函館地区連

事務局次長に就任した、檜山地本伊藤副委員長

2月24日(金)、午前10時45分から日比谷野外音楽堂において、デモ行進前の出発集会在開かれました。当日は、全国の町村職から582単組総勢720人が参加(うち女性153人)し、うち檜山地本4単組から計6人の参加がありました。

出発集会終了後、春を思わせる強い日差しが燦々と降り注ぐ霞ヶ関界隈を、デモ行進(シユプ

第三回全国 町村職 総決起集会

合組織部長山田幸光氏により、『組合運動の組織論、運動論』と題し、講演が行われました。

自治労第33回全国町村職総決起集会



檜山地本参加者全員で写真撮影



レヒコール)しました。

今年、日比谷公園をスタートして日比谷公園に戻るという行程でした。その後、砂防会館へ会場を移し、総決起集会在開かれました。

2012 春闘をたたかうぞ!

編集後記

「あっ」という間の二年間でした。「光陰矢のごとし」と言いますが、本当に過ぎてみれば、短く感じた専従書記長の任期でした。それだけ自身の濃い期間であったということもできます。思い返せばいろいろありすぎて、とても紙幅が足りませんが、二年前は右も左も分からなく、真っ白な状態からのスタートであり、いろいろ皆様にもご迷惑をおかけしたかもしれません。日タルーチンワークをこなすだけで一杯一杯で、まったく余裕のなかった二年間でした。

この二年間で何ができたかという、反省ばかりですが、なんとかこんとかここまでたどり着いたという感じです。

4月からは奥尻町役場へ戻り、現場職員としての日々を過ごすこととなりますが、この専従書記長の貴重な二年間の経験を、今後にかけていければと思います。

組合員の皆様にはこの間一方ならぬ支えを頂きまして、なんとか任期を全うできることに感謝を申し上げます。任期は残り25日ですが、最後の編集後記と致します。二年間本当にありがとうございました。(佐野)